

水上スポーツ関連施設の整備について

1 経緯・目的

中央区は、区の面積に占める水面の割合が23区で最も高く、豊かな水辺を有するまちとして発展してきた。江戸以来、水辺を盛んに活用してきた本区において、近年、再び水辺の活用に目が向けられるようになってきたことを背景に、基本計画2023では、「水とみどりプロジェクト」をリーディングプロジェクトの一つに位置付け、水辺空間を活用したまちづくりを推進している。

また、東京2020大会やパリ五輪を契機としてスポーツへの関心が高まるとともに、令和6年3月には、中央区スポーツ協会の加盟団体であるヨット連盟に水上スポーツ部門が創設されるなど、区内における水上スポーツへの機運醸成が図られている。

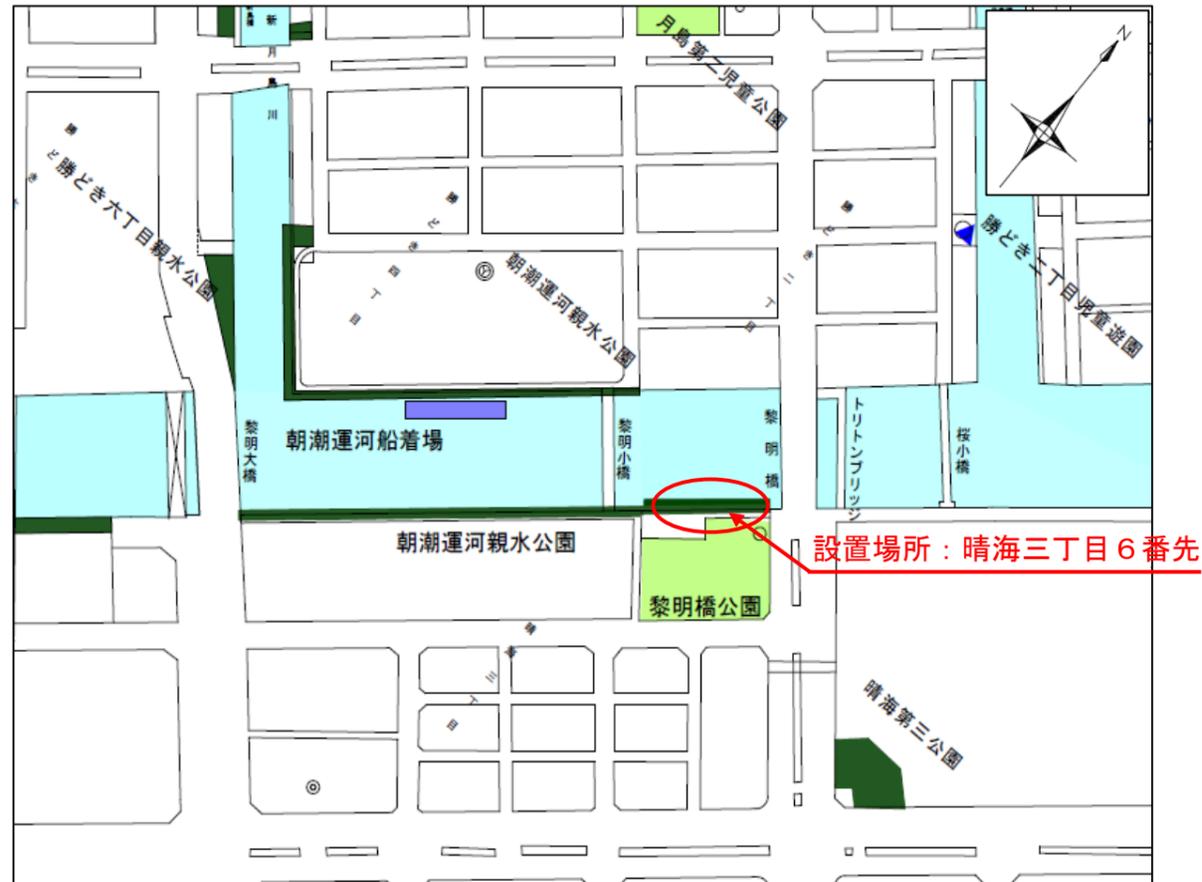
そこで、都内随一の水辺空間を誇る本区の特徴を生かし、区民などのスポーツ活動のさらなる推進に向けて、ボートやカヌーなどの利用を想定した水上スポーツ関連施設を整備するものである。

2 施設概要

(1) 整備施設

- ・非動力船（ボートやカヌーなど）用の船着場
- ・水上スポーツ関連器具の保管庫

(2) 設置場所



3 整備スケジュール

令和7年度：基本設計、実施設計

令和8年度：工事

令和9年度：開設（当面の間は、検証利用を予定）

4 その他

将来的なスポーツ開放を目指し、当面の間は、ボートやカヌーなどを安全・安心に利用していただくための検証利用期間を設ける。

(参考) 船着場整備イメージ (参照：東品川海上公園船着場)

